



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況(非連結)

平成20年2月12日

上場会社名 株式会社ホロン 上場取引所 JQ  
 コード番号 7748 URL <http://www.holon-ltd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 穴澤 紀道  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 加藤 邦彦 TEL (03)3341-6431

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	234	△34.2	△228	—	△230	—	△291	—
19年3月期第3四半期	355	△46.1	△296	—	△290	—	△295	—
19年3月期	566	—	△400	—	△396	—	△398	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	△11,302	95	—	—
19年3月期第3四半期	△11,529	13	—	—
19年3月期	△15,540	51	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
20年3月期第3四半期	1,269		1,032		81.3	39,914	67
19年3月期第3四半期	2,145		1,421		66.3	55,298	25
19年3月期	1,885		1,319		70.0	51,265	57

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	△245	△22	△93	262
19年3月期第3四半期	—	—	—	—
19年3月期	△452	△79	7	625

(注) 四半期のキャッシュ・フロー計算書は20年3月期第3四半期から作成しているため、19年3月期第3四半期は記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第3四半期末	
	円	銭
19年3月期第3四半期	—	—
20年3月期第3四半期	—	—

## 3. 平成20年3月期の業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	300	△47.1	△318	—	△318	—	△378	—	△14,601	92

## 4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。〕

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

通期の業績予想に関する事項につきましては、平成20年2月7日公表の「平成20年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるフォトマスク用CD-SEM市場は、その市場規模が依然横ばいの状態であることや、競合他社との競争激化により、当社の主力製品であるマスク寸法測定装置「EMU」の販売は予想通りに進展していない状況にあります。さらに今年度の場合は、測定対象が65-45nmノードから45-32nmノードへ移りつつある端境期が長期化の様相を呈し、顧客各社は65nmノードの量産体制のまま推移し45nmノード以降の開発が抑えられ、設備投資予算実行は先送りされる状況であります。そのため当社主力製品である「EMU」は、45-32nmノード対応の要求を受けて開発してまいりましたが、顧客の設備計画変更等により当初計画いたしました複数の商談が成立せず引き続き厳しい経営環境が続いております。

また、LED（発光ダイオード）生産用パターン転写装置である電子スタンプ「EBLITHO」につきまして、客先の設置場所工事の遅延から検収が遅れていた案件は、工事が終了し装置搬入後12月に売上計上いたしました。その他の案件に関しまして、その有効性を証明するには未だ時間を要し、顧客は開発試作及び量産への前段階にあるため、設備投資予算の実行は順延または保留している状況で当社の受注状況は好転しておりません。

以上の結果、当第3四半期における業績につきましては、売上高234百万円（前年同期比34.2%減）、営業損失228百万円（前年同期は296百万円の営業損失）、経常損失230百万円（前年同期は290百万円の経常損失）となりました。また、特別利益として役員退職慰労引当金の全額136百万円の取崩等により147百万円を計上しましたが、平成19年11月21日付「特別損失の発生並びに平成20年3月期中間期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり減損損失206百万円を計上したため、四半期純損失291百万円（前年同期は295百万円の四半期純損失）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前事業年度末1,504百万円に比べて、396百万円減少し、1,107百万円となりました。これは、主として現金及び預金が228百万円、有価証券が134百万円減少したことなどによりです。

固定資産は、前事業年度末381百万円に比べて、219百万円減少し、161百万円となりました。これは、主として減損損失の計上等により、土地の減少111百万円、建物の減少22百万円、機械装置の減少27百万円及びノウハウ利用権の減少38百万円等があったことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末1,885百万円に比べて616百万円減少し、1,269百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前事業年度末325百万円に比べて、185百万円減少し、139百万円となりました。これは、主として短期借入金60百万円、仕入債務が63百万円減少したためであります。

固定負債は、前事業年度末240百万円に比べて、142百万円減少し、97百万円となりました。これは、主として役員退職慰労引当金が全額取崩により、136百万円減少したためであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末566百万円に比べて、328百万円減少し、237百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前事業年度末における純資産合計1,319百万円に比べて、287百万円減少し、1,032百万円となりました。主な減少要因は当第3四半期純損失が291百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ363百万円減少し、262百万円となりました。

当第3四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は245百万円となりました。

これは主に、減損損失206百万円等の非資金的費用や売上債権の減少91百万円等がある一方で、税引前四半期純損失289百万円、たな卸資産の増加96百万円及び仕入債務の減少63百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は22百万円となりました。

これは、有形固定資産及び無形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は93百万円となりました。

これは、主に短期借入金及び長期借入金の返済によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、今後の見通しを勘案し、売上高300百万円、営業損失318百万円、経常損失318百万円、当期純損失378百万円に修正いたしました。当該予想数値の修正に関する事項は、平成20年2月7日公表の「平成20年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当社の主力製品はマスク寸法測定装置であり装置1台あたりの販売価格は非常に高額で当社の企業規模に比して大きいため業績を不安定にしております。特に、第4四半期に売上を予定している案件が翌期の計上となった場合、売上高が大きく下回る可能性があることを当社の事業等のリスクとして発表させて頂いております。

また、フォトマスク市場の動向及び顧客の設備投資について、市場動向の変動や顧客の設備投資の動向によって当社の財務状態及び経営成績は影響を受ける可能性がある旨もリスク情報として発表させて頂いておりますが、当期につきましては、残念ながら回避に至らず、業績予想を下方修正する結果となりました。この影響を最小限に止めるべく、平成19年12月17日付「株式会社エー・アンド・デイに対する第三者割当増資に関する基本合意書締結についてのお知らせ」のとおり増資による資金面での強化及び共同開発を視野に入れた新市場の開拓を進めております。今後の対策としまして、現在保有する技術の応用や改良によって新製品の開発に努め、製品のラインアップの充実を図ることにより、フォトマスク市場への依存の軽減を考えております。具体的な政策につきましては、決定次第改めてお知らせいたします。

### 4. その他

#### (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

#### (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正（（所得税法等の一部を改正する法律 平成19年3月30日 法律第6号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令 平成19年3月30日 政令第83号））に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

## 5. (要約) 四半期財務諸表

## (1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	673	181	△492		410
2. 受取手形	9	4	△5		5
3. 売掛金	138	172	33		262
4. 有価証券	250	80	△169		215
5. たな卸資産	658	660	2		563
6. その他	23	8	△15		48
貸倒引当金	△1	0	1		△1
流動資産合計	1,752	1,107	△644	△36.8	1,504
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物	62	38	△24		60
(2) 土地	170	59	△111		170
(3) その他	47	—	△47		41
有形固定資産合計	280	97	△183		272
2. 無形固定資産	46	—	△46		42
3. 投資その他の資産	65	64	△1		65
固定資産合計	393	161	△231	△58.8	381
資産合計	2,145	1,269	△875	△40.8	1,885

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 買掛金	233	67	△166		130
2. 短期借入金	90	—	△90		60
3. 一年以内返済予定の 長期借入金	50	31	△19		53
4. 未払法人税等	1	1	0		3
5. 前受金	3	7	3		0
6. 賞与引当金	—	—	—		10
7. 製品保証引当金	19	6	△13		14
8. その他	73	26	△47		51
流動負債合計	471	139	△332	△70.4	325
II 固定負債					
1. 長期借入金	72	41	△31		56
2. 退職給付引当金	46	52	6		47
3. 役員退職慰労引当金	133	—	△133		136
4. その他	—	4	4		—
固定負債合計	252	97	△154	△61.2	240
負債合計	724	237	△486	△67.2	566
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	589	591	2		589
2. 資本剰余金	532	535	2		533
3. 利益剰余金	299	△94	△394		196
株主資本合計	1,421	1,032	△389	△27.4	1,319
純資産合計	1,421	1,032	△389	△27.4	1,319
負債純資産合計	2,145	1,269	△875	△40.8	1,885

## (2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参 考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	355	234	△121	△34.2	566
製品事業売上高	178	87	△90	△50.8	272
その他事業売上高	177	146	△31	△17.5	293
II 売上原価	193	127	△66	△34.3	385
売上総利益	162	106	△55	△34.1	180
III 販売費及び一般管理費	458	335	△123	△26.9	581
営業損失	296	228	△67	—	400
IV 営業外収益	8	1	△7	△84.2	7
V 営業外費用	2	3	0	28.7	3
経常損失	290	230	△59	—	396
VI 特別利益	3	147	143	—	1
VII 特別損失	7	206	199	—	0
税引前四半期(当期) 純損失	294	289	△4	—	395
税金費用	1	1	0	39.1	3
四半期(当期)純損失	295	291	△3	—	398

## (3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

前年同四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成18年3月31日残高(百万円)	585	529	529
当四半期の変動額			
新株予約権の行使	3	3	3
四半期純損失	—	—	—
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	—	—	—
当四半期の変動額合計(百万円)	3	3	3
平成18年12月31日残高(百万円)	589	532	532

	株主資本					純資産合計
	利益剰余金				株主資本合計	
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
		別途積立金	繰越利益 剰余金			
平成18年3月31日残高(百万円)	7	554	34	595	1,710	1,710
当四半期の変動額						
新株予約権の行使	—	—	—	—	6	6
四半期純損失	—	—	△295	△295	△295	△295
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—
当四半期の変動額合計(百万円)	—	—	△295	△295	△288	△288
平成18年12月31日残高(百万円)	7	554	△261	299	1,421	1,421



当四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成19年3月31日残高(百万円)	589	533	533
当四半期の変動額			
新株予約権の行使	2	2	2
四半期純損失	—	—	—
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	—	—	—
当四半期の変動額合計(百万円)	2	2	2
平成19年12月31日残高(百万円)	591	535	535

	株主資本					純資産合計
	利益剰余金				株主資本合計	
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
		別途積立金	繰越利益 剰余金			
平成19年3月31日残高(百万円)	7	554	△364	196	1,319	1,319
当四半期の変動額						
新株予約権の行使	—	—	—	—	4	4
四半期純損失	—	—	△291	△291	△291	△291
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—
当四半期の変動額合計(百万円)	—	—	△291	△291	△286	△286
平成19年12月31日残高(百万円)	7	554	△655	△94	1,032	1,032

前期(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成18年3月31日残高(百万円)	585	529	529
事業年度中の変動額			
新株予約権の行使	3	3	3
当期純損失	—	—	—
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—
事業年度中の変動額合計(百万円)	3	3	3
平成19年3月31日残高(百万円)	589	533	533

	株主資本					純資産合計
	利益剰余金				株主資本合計	
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
		別途積立金	繰越利益 剰余金			
平成18年3月31日残高(百万円)	7	554	34	595	1,710	1,710
事業年度中の変動額						
新株予約権の行使	—	—	—	—	7	7
当期純損失	—	—	△398	△398	△398	△398
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—
事業年度中の変動額合計(百万円)	—	—	△398	△398	△391	△391
平成19年3月31日残高(百万円)	7	554	△364	196	1,319	1,319

## (4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期第3四半期)	(参考)前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前四半期(当期)純損失	—	△289	△395
減価償却費	—	19	40
減損損失	—	206	—
引当金の増減額	—	△151	10
受取利息及び受取配当金	—	△1	△1
支払利息	—	1	3
売上債権の増減額(△は増加)	—	91	△99
たな卸資産の増減額(△は増加)	—	△96	29
仕入債務の増減額(△は減少)	—	△63	△175
その他	—	39	42
小計	—	△243	△545
利息及び配当金の受取額	—	1	1
利息の支払額	—	△1	△3
法人税等の還付による収入	—	—	96
法人税等の支払額	—	△1	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	△245	△452
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	—	△6	△39
無形固定資産の取得による支出	—	△15	△37
その他	—	—	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△22	△79
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の返済による支出	—	△60	△30
長期借入れによる収入	—	—	80
長期借入金の返済による支出	—	△37	△50
新株予約権の行使による収入	—	4	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△93	7
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	—	△1	1
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>	—	△363	△523
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	—	625	1,149
<b>VII 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高</b>	—	262	625

## 6. 受注及び販売の状況

## (1) 受注状況

(単位：百万円)

事業部門	前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)		当四半期 (平成20年3月期第3四半期)		比較増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
製品事業	262	95	—	—	△262	△95
その他事業	149	77	131	47	△18	△29
合計	412	172	131	47	△280	△124

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 販売実績

(単位：百万円、%)

事業部門	前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)		当四半期 (平成20年3月期第3四半期)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
製品事業	178	50.0	87	37.4	△90	△51
その他事業	177	50.0	146	62.6	△31	△18
合計	355	100.0	234	100.0	△121	△34

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。